

子育てステーション梅丘発達相談室が移転しました

2020年4月から、梅丘発達相談室が右記の場所に移転しました。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

住 所 〒156-0043
松原6-41-7 子育てステーション梅丘1階

T E L 03-6304-3440

F A X 03-5300-2998

開 所 日 火～土曜日（祝日、年末年始を除く）

開所時間 午前9時～午後6時

発達相談 お子さんの発達や発達障害についてのご相談をお受けします。
お子さんへの関わり方や支援について一緒に考えていきます。



世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」

開所日時

月～土曜日（祝日及び年末年始を除く）
午前9時～午後6時

利用方法

世田谷区在住の方を対象としています。
何かお困りのことがあれば、まず、世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」にお電話ください。

TEL 03-5727-2236（相談専用）

〒157-0074 世田谷区大蔵2-10-18
大蔵二丁目複合型子ども支援センター2・3階
TEL 03-5727-2235（代表）
FAX 03-5727-2238
URL <http://www.ryo-iku.jp>

業務受託：社会福祉法人 トポスの会

〒123-0844 足立区興野2-18-12
TEL 03-5837-4830 FAX 03-3890-8121

発達障害支援に関するメールマガジン

『すまいる通信』を配信しています

毎月20日に
配信します

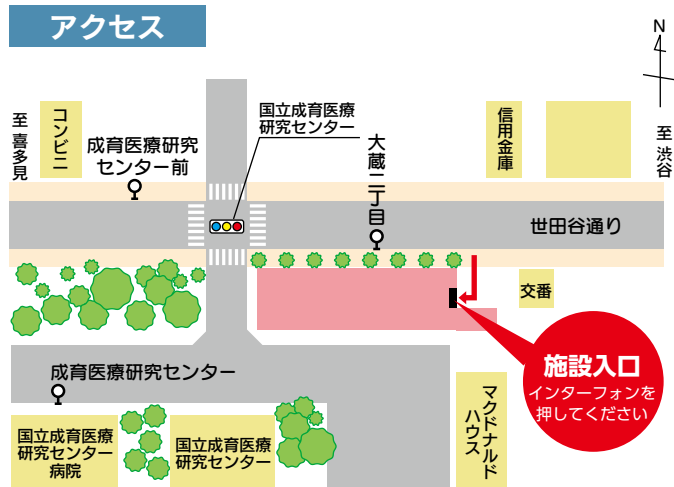
新規登録、登録内容の変更・登録の解除

下記のアドレスまたは右のQR
コードより案内に従い、空メール
を送信してください。



▶ <http://www.setagaya-mail.jp/top.html>

アクセス



「成育医療研究センター前」「大蔵二丁目」バス停下車すぐ

東急バス・小田急バス

（渋24）成城学園前駅 ↔ 渋谷駅

東急バス

（都立01）成城学園前駅 ↔ 都立大学駅北口

（等12）成城学園前駅 ↔ 等々力操車所

（用06）成城学園前駅 ↔ 用賀駅

（玉31・32）二子玉川駅 ↔ 成育医療研究センター

小田急バス

（渋26）調布駅南口 ↔ 渋谷駅

渋谷方面行きのバスにご乗車の場合は「成育医療研究センター前」で下車。成育医療研究センター行き、成城学園前駅行き、調布駅南口行き方面のバスにご乗車の場合は「大蔵二丁目」で下車。

※専用駐車場はありません。

発行 世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」

Gpress

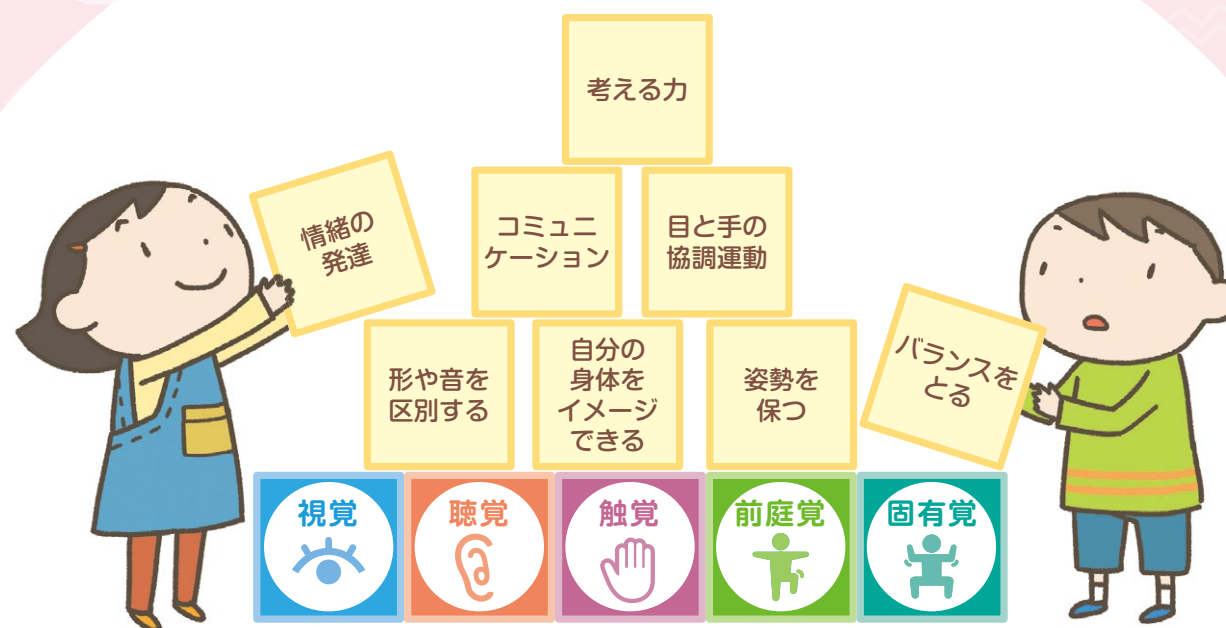
せたがや

第40号
2020
8月発行

「ジープレスせたがや」
<http://www.ryo-iku.jp>
GpressのGは愛称「げんき」のGです。

感覚の発達について

～土台を育てよう～



感覚・身体・認知は全てつながって成長します。
身体の発達のように、感覚も段階的に発達していきます。

土台となる、**視覚・聴覚・触覚・前庭覚・固有覚**を
大切に育てていきましょう。

「げんき」では、発達障害に関する全般的なご相談をお受けしています。

まずはお電話ください

03-5727-2236（「げんき」相談専用番号）



5つの感覚を育てよう

～脳と身体を育む根っこを作しましょう～

感覚から得られる情報を取り入れ、整理することで脳は成長していきます。遊びを通して、幼児期～学童期の子どもの感覚はぐんぐん育ちます。

楽しく遊びながら、子どもが自分自身の身体の動かし方や調整の仕方を身につけることができるといいですね。

視覚



目で対象を見て、認知する感覚

注目すべきものを探す働きがあります。

風船バレー

ゆらゆらおちる風船をしっかりと見てタッチしましょう。目的の確に、対象物を追う力を育てます。



育てよう、じっくり見る力

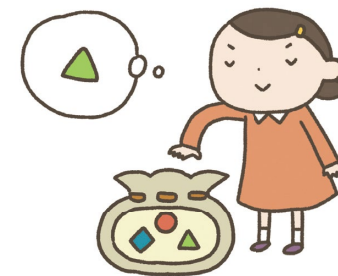
触覚



触ることで、それが何かを判別する感覚

形あてクイズ

触った感触だけで袋の中から見本と同じ形のおもちゃを探します。触って形・感触・大きさを理解する力を育てます。



育てよう、触って識別する力

聴覚



耳で音を聞き、理解する感覚

いろいろな音の中から、興味のある音を聞き取る働きがあります。

音あてクイズ

「何の音?」「どこから聞こえた?」「何回聞こえた?」と、音に関するクイズをしてみましょう。必要な情報を、注意深く聞き取る力を育てます。



育てよう、必要な音を聞く力

前庭覚



重力に対する身体の向きや回転・スピードがわかる感覚

すべり台・ブランコなど

身体のかたむきや速さが変化する遊具は、揺れ・動き・高さ・速度などを感じることができます。楽しく遊びながら、これらの刺激を感じましょう。



育てよう、姿勢を保持する力

固有覚



筋肉や関節から、手足の位置や身体の動きを知る感覚

なわとび

身体の別々の部位を組み合わせで動かすことに挑戦してみましょう。左右の手を同じスピードで動かす、手の動きに合わせて跳ぶなど、各部位を協調させることが大切です。太く重い縄を使うと、より身体の動きを意識できます。



育てよう、身体の動きを調整する力



作成協力
作業療法士
樋口正勝先生